

NACCS業務講習会 海上編

【輸出通関業務】

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

2024年3月

目次

● 輸出業務フローについて

- 輸出業務フロー(輸出コンテナ貨物).....4
- 輸出業務フロー(輸出コンテナ貨物).....5
- 輸出業務フロー(輸出在来貨物).....6
- 輸出業務フロー(NACCS不参加蔵置場).....7

● 輸出貨物情報登録業務について

- 貨物情報の必須化について.....9
- 輸出貨物情報登録について.....10

● 輸出申告業務について

- 貨物情報を基本とした輸出申告.....17
- 輸出申告事項呼出しについて.....18
- 輸出申告事項登録について.....20
- 輸出申告について.....27
- 輸出申告訂正業務フロー.....29
- 輸出申告前の訂正について.....30
- 輸出申告後の訂正について.....31
- 輸出許可後の訂正について.....34

- 審査・検査について.....40
- 申告添付登録について.....41
- 輸出者コードについて.....43
- 海外仕出人・仕向人コードについて.....44

● 申告先官署の変更について

- 輸出申告後の申告先官署の変更について.....46

● 主な照会業務

- 貨物情報照会について.....48
- コンテナ情報照会について.....51
- 業務リンク機能について.....53
- 輸出申告等照会について.....54
- 輸出申告等一覧照会について.....56
- 輸出入者情報照会について.....57

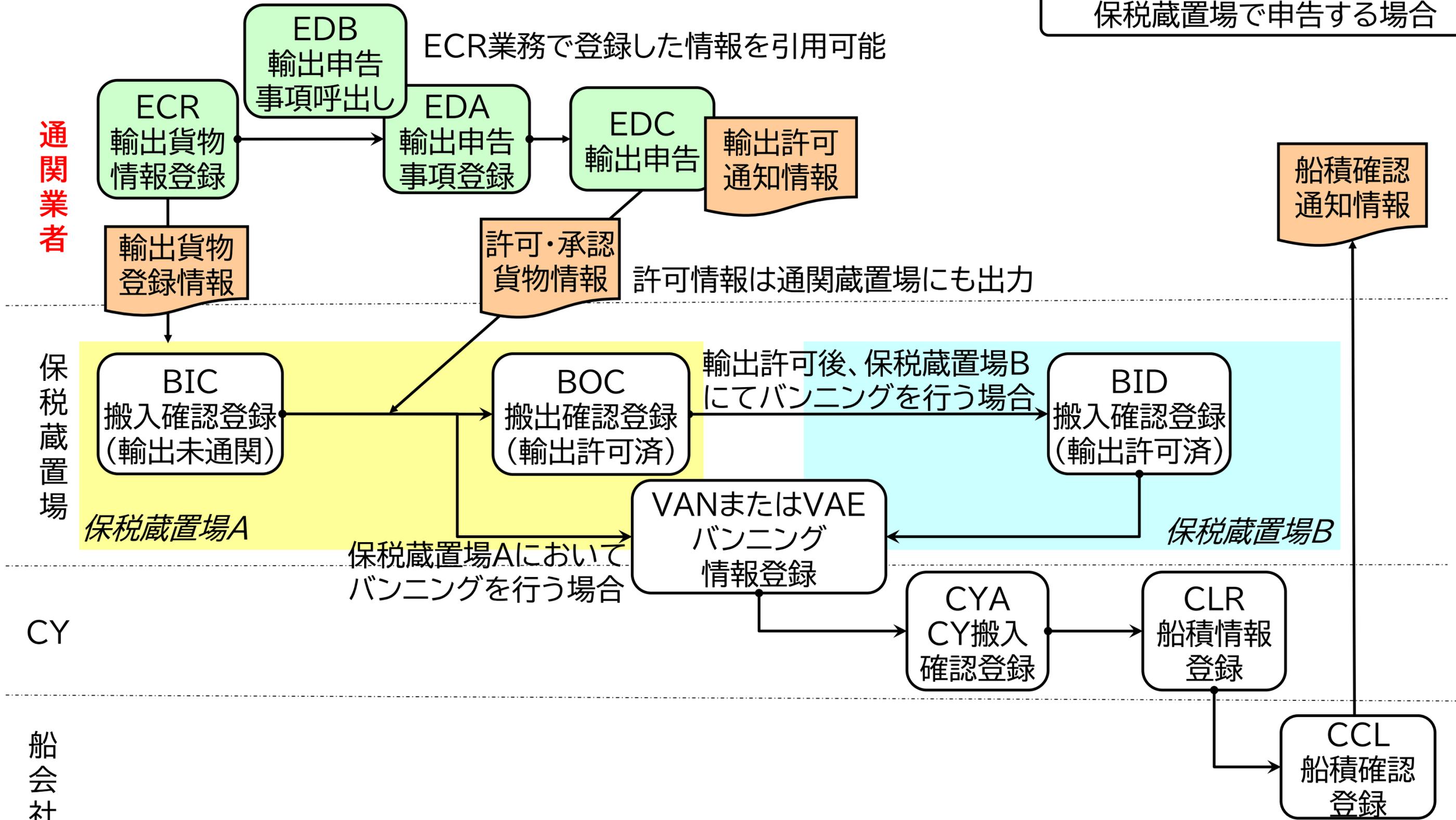
● 輸出入申告関連共通業務について

- 貨物取扱業務一覧.....59
- 見本持出業務一覧.....61

輸出業務フローについて

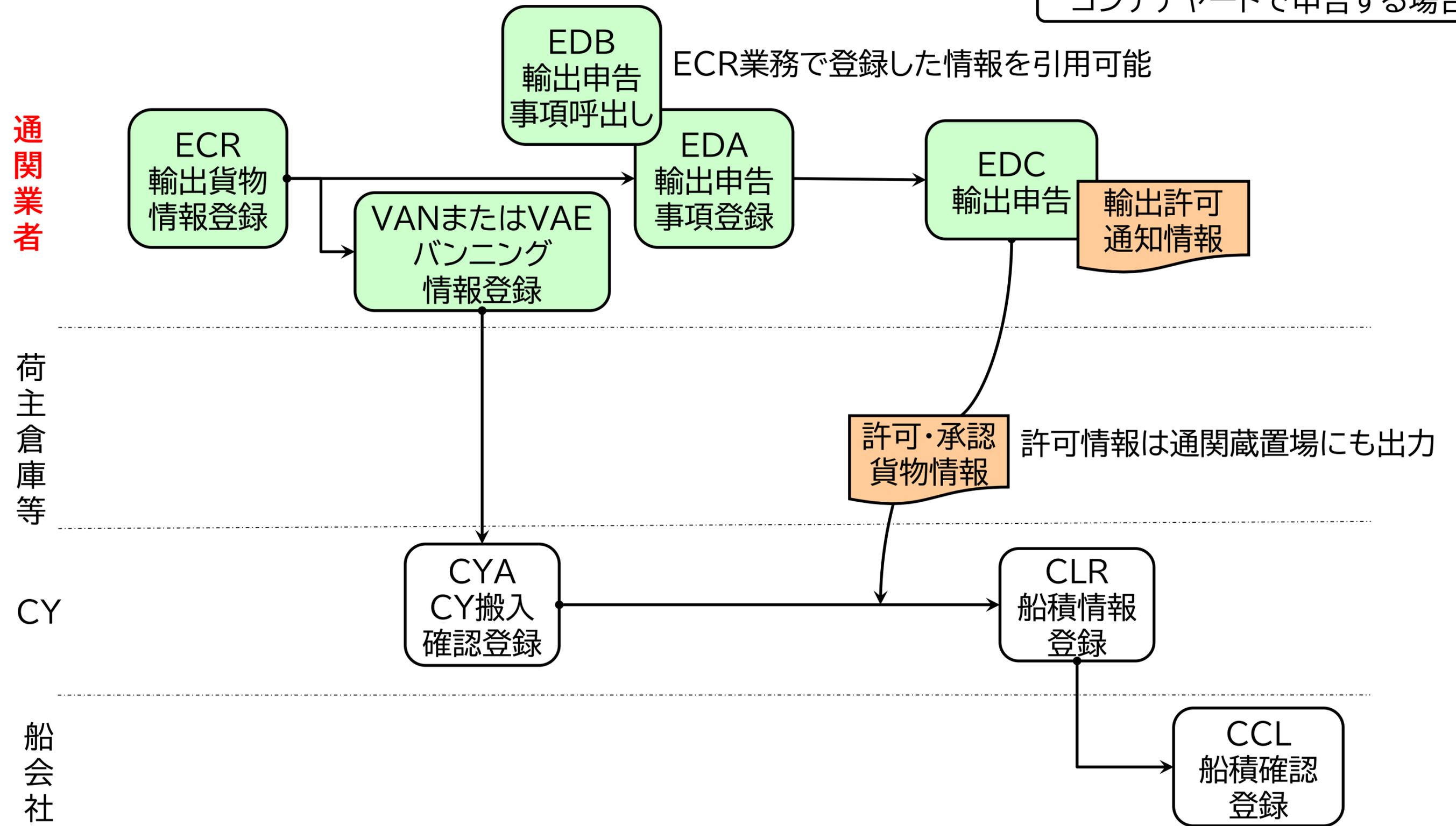
輸出業務フロー(輸出コンテナ貨物)

保税蔵置場で申告する場合



輸出業務フロー(輸出コンテナ貨物)

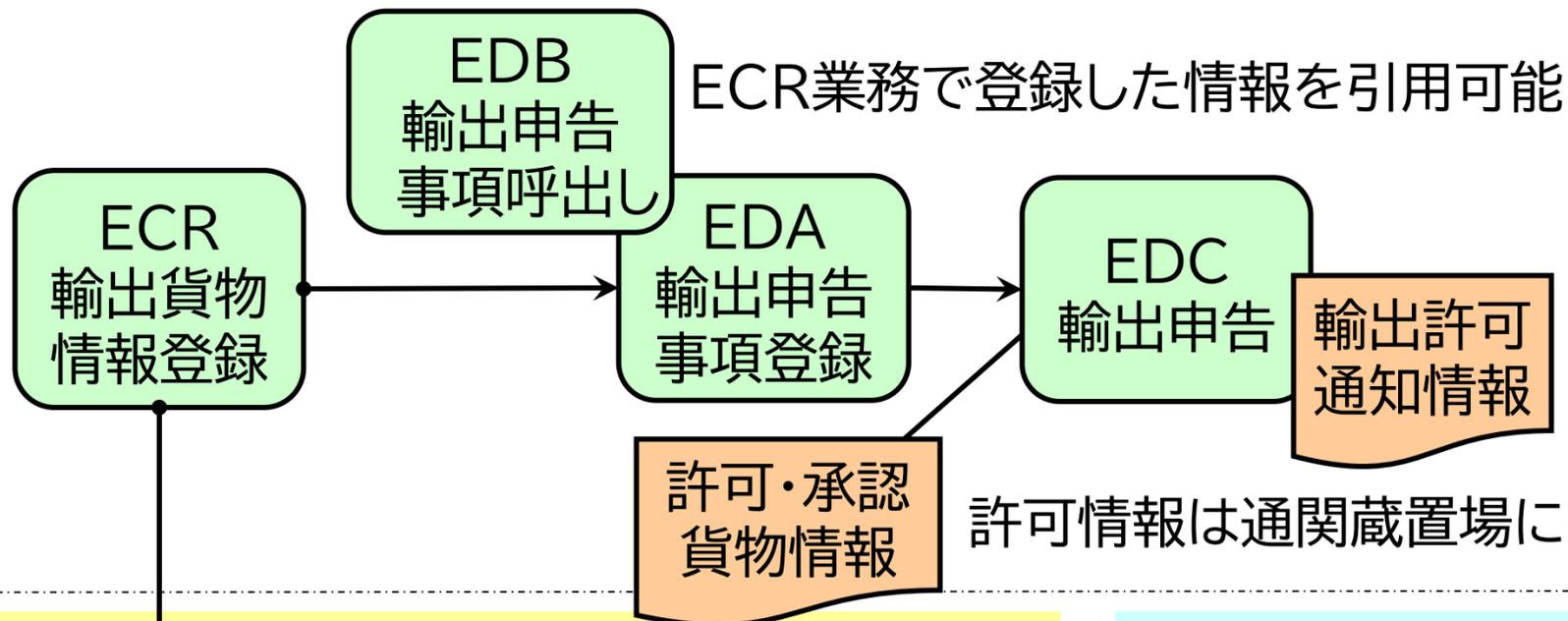
コンテナヤードで申告する場合



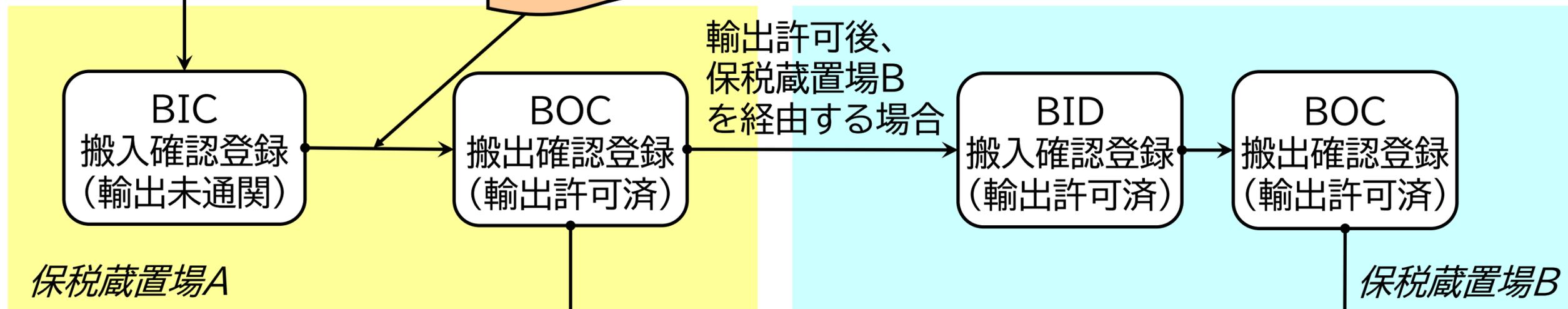
輸出業務フロー(輸出在来貨物)

保税蔵置場で申告する場合

通関業者



保税蔵置場



CY

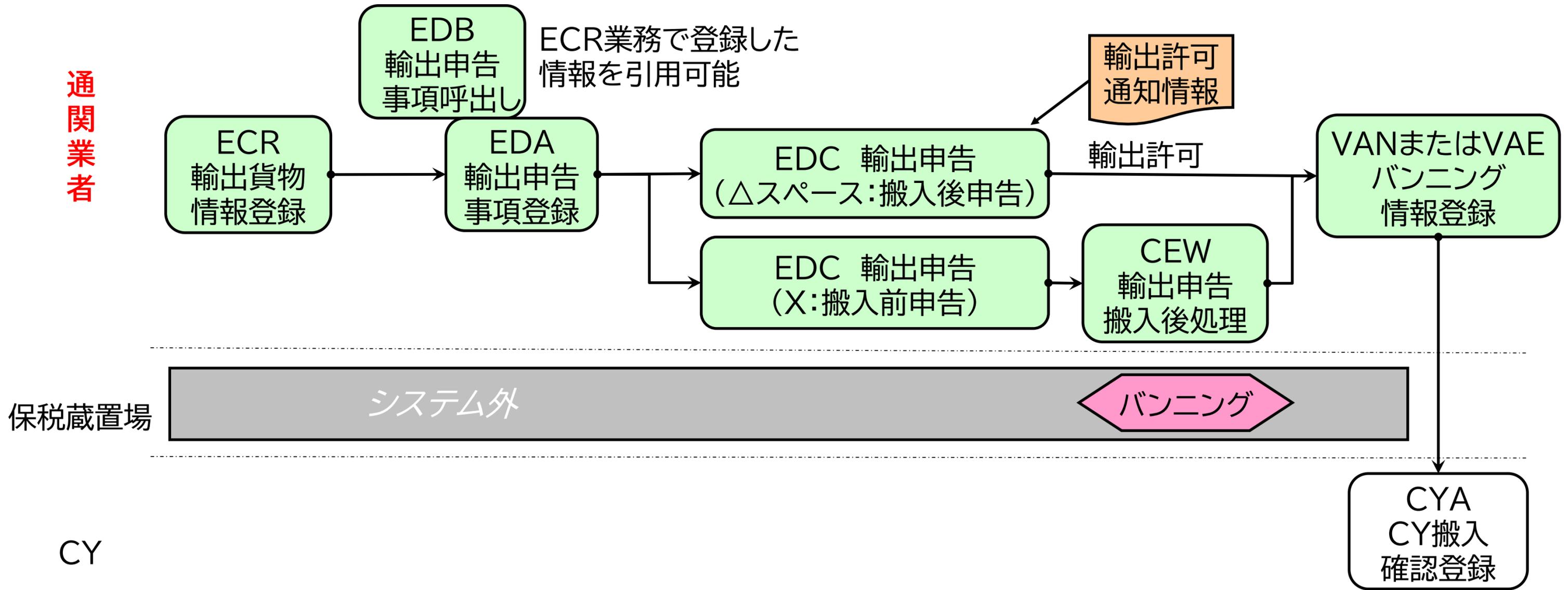


船社



輸出業務フロー(NACCS不参加蔵置場)

NACCS不参加蔵置場で申告し、不参加蔵置場でバンニングする場合



- ・NACCS不参加蔵置場で輸出申告を行う際に、申告条件を「X:搬入前申告」で行う場合には、輸出申告後に通関業者がCEW業務の実施が必要です。
- ・バンニング蔵置場がNACCS不参加であってもVAN業務またはVAE業務が必要です。

輸出貨物情報登録業務について

NACCSは、利用者の皆様が貨物にかかる情報(「貨物情報」といいます)を入力し、その情報を共有しながら各種手続きを行うシステムです。

- ECR(輸出貨物情報登録)業務の必須化
貨物を輸出しようとする場合には、保税蔵置場の参加・不参加に関わらず、ECR業務が必要です。
- 通関蔵置場等における搬入確認登録
NACCSで、輸出許可を受けようとする貨物については、通関蔵置場等にて貨物が搬入された旨の登録がされていることが必要です。

NACCSは輸出入貨物に関わる関係者の**全員参加を前提にしたシステム**であり、貨物情報はその関係者が共有して利用することとなります。

輸出しようとする貨物の貨物情報を登録し、貨物輸出管理番号を払い出します。

ECR業務 入力画面(上段)

処理区分*	9	(9:新規登録 5:訂正 1:貨物情報の削除)	
N-S/I 番号			
輸出管理番号			
輸出者	① P005A5550000_ -	② 輸出者名入力	
申告予定者			
品名	VEGETABLE PRODUCTS		
総個数	1000	- CT	総重量 10000.000 - KGM
船会社	SAKA	積載予定船舶 9999	- NACCS MARU
航海番号	NACCS100	入港日 2017/09/05	積出港 JPTYO 出港予定日 2017/09/05 船卸港 USLAX
荷受形態	51	荷渡形態	51
社内整理番号	VEGETABLE-1		
荷主セクションコード			
記事			
最終仕向地	USLAX	ブッキング番号	
		危険貨物	<input type="checkbox"/>
		貨物識別	

① 無符号輸出者の場合、入力不要(特定輸出は無符号不可)
② 輸出者名に入力がない場合、必須入力

① 無符号輸出者の場合または、国内用輸出入者DBに登録されている名称が無効の場合は、必須入力
② 有符号輸出者の場合(国内用輸出入者DBに登録されている名称が無効の場合を除く)は、入力不可

51:CY荷受
52:CFS荷受
53:DOOR荷受
54:Direct(Breakbulk)荷受
55:CY&CFS荷受
OT:上記以外の場合

国連LOCODE

ECR業務 入力画面(下段)

1 / 5

搬入予定先

搬入予定日

経由地

個数 重量

記号番号
NACCS IN DIA
MADE IN JAPAN

	入庫管理番号	個数	入庫管理番号
1	<input type="text"/>	<input type="text"/>	2
4	<input type="text"/>	<input type="text"/>	5

1業務で登録可能な搬入予定先は最大5箇所

- ① 1輸出管理番号に対して同一の搬入先の入力は不可
- ② 複数の搬入予定先を入力した場合は、同一税関内の保税地域コードであること
- ③ 特定輸出貨物、特定委託輸出貨物または特定製造貨物の場合は、本船・心中扱いまたは、洋上貨物に係る搬入予定先の入力は不可(自社施設は除く)
- ④ 入力された搬入予定先コードが本船・心中扱いまたは、洋上貨物の場合は、複数の搬入予定先の入力は不可
- ⑤ 入力された搬入予定先コードが自社施設の場合は、特定輸出貨物であること
- ⑥ 入力された搬入予定先コードが自社施設の場合は、輸出者コードに自社施設を管理する輸出者が入力されていること(輸出者コードの先頭8桁または13桁が一致すること)

- ① 整数部6桁、小数部3桁で入力
- ② 搬入予定重量 ≤ 総重量であること
- ③ 本船扱い、心中扱いの場合には総重量と一致すること

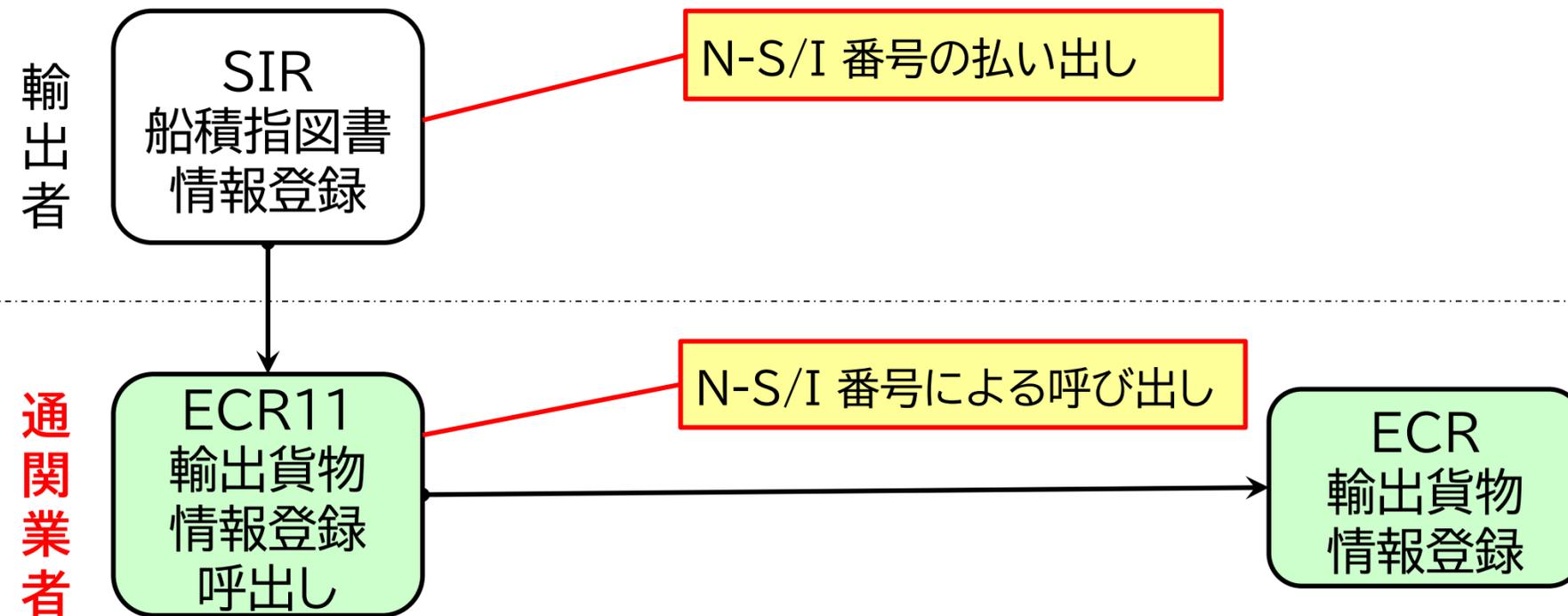
- ① 搬入予定個数の合計 ≤ 総個数であること
- ② 小数点以下入力不可
- ③ 本船扱い、心中扱いの場合には総個数と一致すること

ECR業務で登録した貨物情報は、後続業務である搬入確認登録業務等が行われない場合、入力された搬入予定日から一定期間経過後にシステムから削除されます。

輸出貨物情報登録について

登録済の情報を利用する場合の業務の流れ

SIR業務(登録) → ECR11業務(呼出し) → ECR業務(登録)



呼出し業務の使用により、前段で行われた登録業務による**情報の利用が可能**となります。
※ECR11(輸出貨物情報登録呼出し)業務で呼び出すには、輸出者によるSIR(船積指図書情報登録)業務が行われている場合に限りです。

ECR11(輸出貨物情報登録呼出し)業務

- ・ ECR業務に先立ち、SIR業務で登録された情報を呼び出すことが可能です。
- ・ すでに登録されている貨物情報の訂正・削除も本業務で実施します。

※引用可能な情報の呼び出し以外に、ECR業務にて登録した情報の訂正及び削除についても、ECR11業務による呼び出しから実施します。

ECR11業務の入力項目

処理区分*	<input type="text" value="5"/> (9 : 新規登録 5 : 訂正 1 : 貨物情報の削除)
N-S/I 番号	<input type="text"/>
品名欄番号	<input type="text"/>
輸出管理番号	<input type="text" value="0000416611"/>

S/I情報が存在する場合に、当該情報を呼び出す際はN-S/I番号を入力

登録済みの貨物情報の訂正・削除の場合、貨物管理番号を入力

ECR業務へ

ECR業務の訂正

輸出貨物情報の訂正は、申告・搬入等の状態により、項目ごとにその可否が異なります。

処理区分	5	(9 : 新規登録 5 : 訂正 1 : 貨物情報の削除)				
N-S/I 番号	<input type="text"/>					
輸出管理番号	3219209921					
輸出者	P005A5550000_ - <input type="text"/>					
申告予定者	1ATB0					
品名	VEGETABLE PRODUCTS					
総個数	②	<input type="text" value="1000"/> - CT	総重量	<input type="text" value="10000.000"/> - KGM	総容積	<input type="text"/> - <input type="text"/>

訂正項目のグループ

② 総個数・総重量・総容積

1 / 5						
搬入予定先	①	<input type="text" value="1HB00"/>				
搬入予定日	<input type="text" value="2017/09/05"/>					
経由地	<input type="text"/>					
個数	③	<input type="text" value="1000"/>	重量	<input type="text" value="10000.000"/>	容積	<input type="text"/>
記号番号	NACCS IN DIA MADE IN JAPAN					

① 搬入予定先

③ 搬入予定個数・重量・容積

輸出貨物情報の訂正(参考)

以下の項目は、輸出申告または許可後訂正において、ECR業務にて登録された情報と異なる場合には、輸出申告または輸出許可後訂正にて入力された情報にて、貨物情報は自動的に上書きされます。

①積載予定船舶コード

②積載予定船名

③出港予定年月日

④積込港コード

⑤輸出者コード *2*3

⑥輸出者名 *1

*1 申告後訂正不可 *2 許可後訂正不可

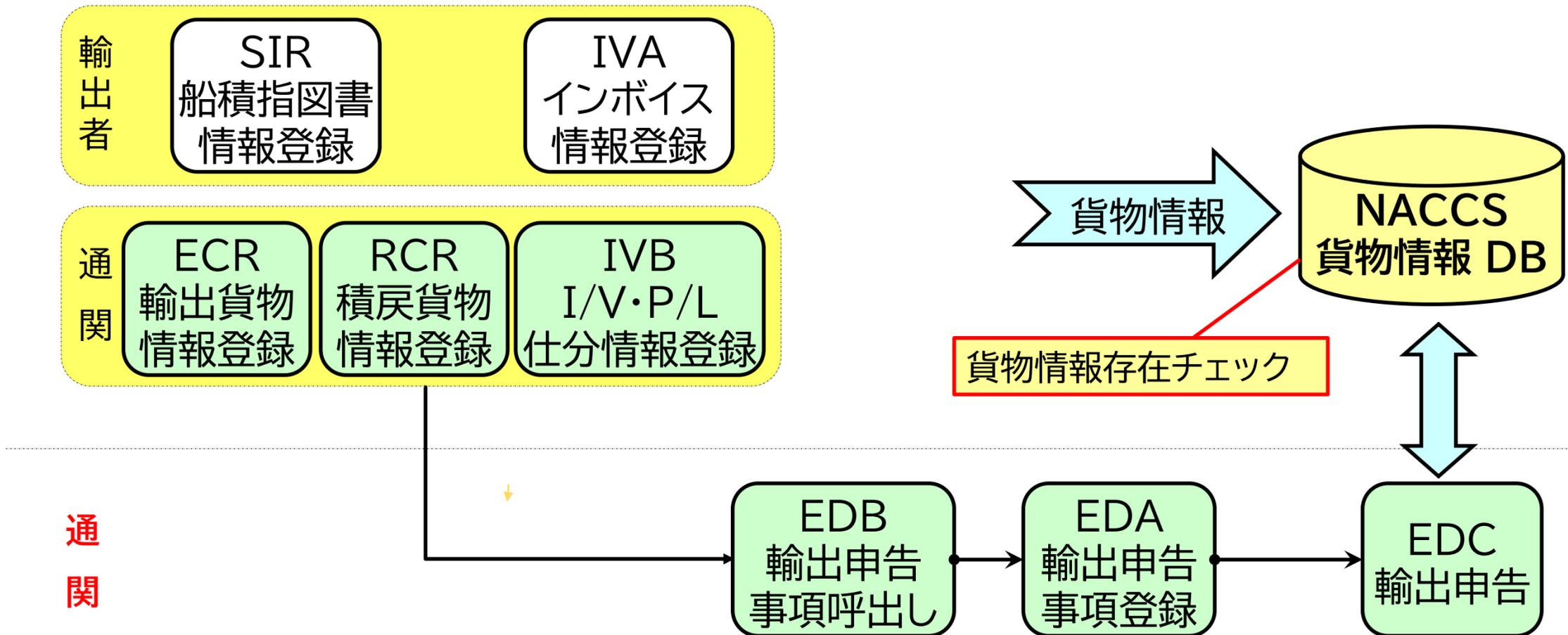
*3 申告中、無符号輸出者から有符号輸出者への変更のみ可能

輸出申告業務について

貨物情報を基本とした輸出申告

輸出申告までの流れ

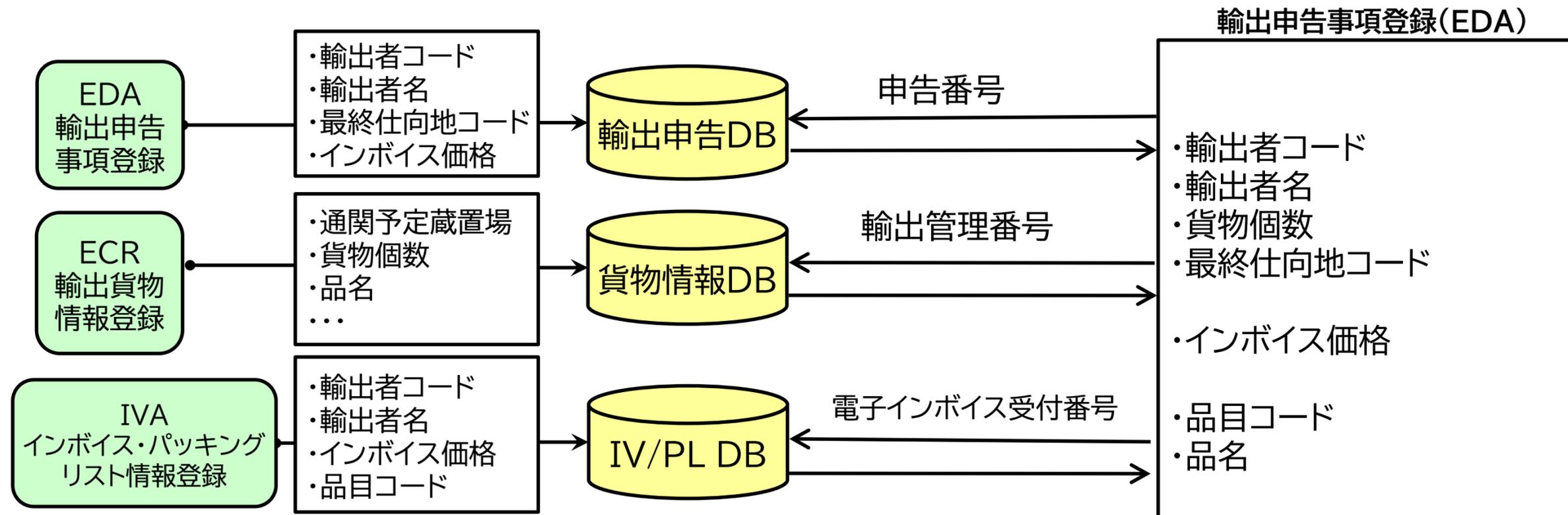
(上流の貨物情報等) → EDB業務(呼出) → EDA業務(登録) → EDC業務(申告)



輸出申告を行うには**貨物情報が登録されていることが必要**です。

EDB(輸出申告事項の情報呼出し)業務

- 輸出管理番号を入力することにより、登録されている貨物情報からEDA(輸出申告事項登録)業務で利用しうる情報を呼び出します。
- 電子インボイス受付番号を入力することにより、インボイス・パッキングリスト情報からEDA業務で利用しうる情報を呼び出します。
- 払い出し済みの申告番号を入力することにより、EDA業務で登録した内容を呼び出します。
※EDA業務登録後に、内容を訂正するときも、このEDB業務から呼び出します。



輸出申告事項呼出しについて

EDB業務の入力項目

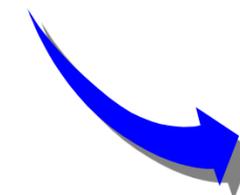
申告等番号	<input type="text"/>
輸出管理番号/AWB番号	<input type="text"/>
電子インボイス受付番号	<input type="text"/>
情報呼出識別	<input type="checkbox"/>
申告等種別コード	<input type="checkbox"/>

<入力可能な組み合わせ> ○:入力可能

パターン	申告等番号	AWB番号	電子インボイス受付番号
1	○		
2		○	
3			○
4	○	○	
5		○	○

- (1)登録されている事項登録情報の申告等種別を変更する場合に入力
- (2)申告等番号以外で呼出す場合は必須入力
 - E:輸出申告
 - N:特定委託輸出申告
 - M:特定製造貨物輸出申告
 - R:積戻し申告
 - T:特定輸出申告
 - G:展示等積戻し申告

- 登録されている事項登録情報の大額・少額の区分を変更する場合に入力
 - (1)大額申告用に呼び出す場合に「L」を入力
 - (2)少額申告用に呼び出す場合に「S」を入力
- ※申告等番号以外で呼出す場合は必須入力



EDA業務へ

EDA業務の呼出し

EDA業務画面は、申告種別を指定して呼び出します。

- ①プルダウンから種別を選択
- ②OKボタン押下で対応する業務画面が展開する

業務コード入力

業務コード

種別

- SEL (輸出・特定委託・特定製造・積戻し／大額・少額可)
- SEL (輸出・特定委託・特定製造・積戻し／大額・少額可)
- STL (特定輸出申告／大額・少額可)
- SGL (展示等積戻し申告／大額・少額可)
- SES (輸出・特定委託・特定製造・積戻し／少額)
- STS (特定輸出申告／少額)
- SGS (展示等積戻し申告／少額)
- AEL (輸出・特定委託・特定製造・積戻し／大額・少額可)
- ATL (特定輸出申告／大額・少額可)
- AGL (展示等積戻し申告／大額・少額可)
- AES (輸出・特定委託・特定製造・積戻し／少額)
- ATS (特定輸出申告／少額)
- AGS (展示等積戻し申告／少額)

種別「S**」のSは、海上(SEA)
種別「A**」のAは、航空(AIR)
を意味する

業務種別の選択内容により、EDA業務の入力画面の構成に違いがあります。
適切な事項登録が行えないこととなるので、種別の選択時には注意が必要です。

EDA業務画面呼び出し時の留意事項

業務種別により入力項目が異なる点に注意が必要です。

EDA業務 入力画面(大額 繰返部)

共通部 繰返部

<01 欄> 輸出統計品目番号* 品名
数量 (1) 数量 (2)
BPR按分係数
他法令 (1) (2) (3) (4) (5)
輸出貿易管理令別表コード 外為法第48
内国消費税免税コード 内国消費税

EDA業務 入力画面(少額 共通部)

輸出管理番号
貨物種別
品名
数量
数量 (1) 数量 (2)
BPR按分係数
他法令 (1) (2) (3) (4) (5)
輸出貿易管理令別表コード 外為法第48条コード 関税減免戻税コード
内国消費税免税コード 内国消費税免税識別

輸出申告(少額)は一欄申告のみ可能としているため、共通部のみで業務画面が完結

業務種別により入力欄自体の有無、画面構成に違いがあります。
適切な事項登録が行えないこととなるので、呼び出し時には注意が必要です。

輸出申告事項登録について

EDA業務(共通部上段)の入力項目

★の項目は、システム登録済みの貨物情報から自動補完が可能です。

申告種別に対応したコードを入力する
 E:輸出申告
 N:特定委託輸出申告
 M:特定製造貨物輸出申告
 R:積戻し申告
 T:特定輸出申告
 G:展示等積戻し申告

R:一般申告(緊急通関貨物)
 T:一般申告(特別通関貨物)
 E:自由化申告(緊急通関貨物)
 Y:横持ち申告
 K:横持ち申告(緊急通関貨物)

共通部		繰返部	
大額・少額識別	<input type="checkbox"/>	申告等種別*	<input type="checkbox"/> E
あて先官署	<input type="checkbox"/>	あて先部門	<input type="checkbox"/>
申告等番号			識別符号 <input type="checkbox"/>
輸出者	★ P005A5550000 - ★ NACCS SYOUJI CO., LTD.		申告予定年月日 <input type="text"/>
輸出者住所	① 1230000 TOKYO TO	② CHUO KU	③
	GINZA 1-1-1		④
	TWIN TOWER BUILDING 10F		⑤
輸出者電話	03000000000		
税関事務管理人	-	受理番号	-
申告予定者	★	通関予定蔵置場	★ 1HB00
仕向人	- NACCS U. S. A. COMPANY LIMITED		
仕向人住所	123 GOLDEN STREET	DOWN TOWN	
	LOS ANGELES	U. S. A.	
	90001	仕向人国	US
		検査	

1. 法人(法人番号を有する者)
 2. 法人番号を有しない者及び個人
 3. 不明
 ※法人番号と関連付けされている JASTPRO・税関発給コードを入力した場合で、ブランクの場合は「1」を自動補完する

輸出者住所を以下の階層に分割して入力する
 ①郵便番号(7桁)
 ②都道府県(15桁)
 ③市町村(行政区)(35桁)
 ④町域名・番地(35桁)
 ⑤ビル名ほか(70桁)

法人番号又は輸出入者コード(JASTPRO・税関発給コード)を入力する
 (1)無符号輸出者の場合、入力不要
 (2)先頭8桁または13桁で入力した場合、後4桁は「0000」を自動補完
 詳細は、講習会資料「輸出入申告業務等におけるマイナンバー(法人番号)入力」をお読みください

輸出申告事項登録について

EDA業務(共通部中段)の入力項目

最終仕向地
国連LOCODEを入力
国名コード「JP」「ZX」「ZY」及び「ZZ」は入力不可

(1)システムから補完されない場合に入力
(2)システムから補完される仕向地が申告すべき仕向地と異なる場合に入力

輸出管理番号	0000410011		
貨物個数	★1000★CT	貨物重量	★10000.000★KGM
記号番号	★NACCS IN DIA	MADE IN JAPAN	
最終仕向地	★USLAX	積込港	★TYO
積載予定船舶	★9999	NACCS MARU	貿易形態別符号 418
コンテナ本数		税関調査用符号	
輸出承認証番号等	(1)	輸出承認証等区分*	NO
	(2)		
	(3)		
	(4)		
	(5)		
	(6)		
	(8)		
	(10)		
	(12)		
	(14)		

積込港コード
国連LOCODEを入力

輸出承認等区分を必須入力
(次頁参照)

左欄:輸出承認証等識別※を入力
右欄:輸出承認証番号等を入力

- ・ 混載でないコンテナ貨物の場合、コンテナ本数(「1」から「200」まで)を入力
(例)1本→「1」、15本→「15」、200本→「200」
- ・ 同一荷主の貨物が混載されているコンテナが1本でもある場合、1桁目に「7」を入力し、残り2桁にコンテナ本数を入力
(例)混載で1本→「701」、混載で15本→「715」
- ・ 異なる荷主の貨物が混載されているコンテナが1本でもある場合、1桁目に「9」を入力し、残り2桁にコンテナ本数を入力
(例)混載で1本→「901」、混載で15本→「915」

コンテナ本数について、本業務に先立ちVAN(バンニング情報登録)業務等を行い、ECR業務の情報を呼び出して本業務を行う際に、当該欄を空白にした場合には、EDC(輸出申告)業務実施時に貨物情報から本数の情報が補完されます。混載コンテナの場合は本業務時に、必ずコンテナ本数の確認を行ってください。

輸出申告事項登録について

EDA業務(共通部下段)の入力項目

インボイス価格等がFOB価格以外の場合に申告価格を入力
(FOB価格がインボイス価格を超えると、「W0014:入力されたFOB価格が、インボイス価格を超えている」の注意喚起を出力し、確認を求めます。)

左欄:FOB通貨コード 右欄:FOB価格
FOB通貨コードが「JPY」以外の場合は、小数部2桁まで入力可

インボイス番号等	B	NACCS100-100	
インボイス価格等*	CIF	JPY	5000000
BPR合計			A
バンニング場所			要船積(搭載) 確認識別 Y
バンニング場所住所			
記事(税関)			
記事(通関業者)			
記事(荷主)			
荷主セクションコード			
社内整理番号			

インボイス価格条件コードを入力
入力可能な条件は下表のとおり

コード	
FOB	DEQ
C&I	DDU
C&F	DDP
CIF	CFR
EXW	CPT
FCA	CIP
FAS	DAP
DAF	DAT
DES	DPU

保税地域コードまたは輸出入者コードを入力
保税地域コード=5桁
輸出入者コード=12桁または17桁
※輸出入者コードを有する自社施設等でバンニングする場合等
※保税地域コードを入力した場合等は、バンニング場所入力必須

「FOB」以外を入力した場合は、「FOB価格等」欄の右にFOB価格を入力し、「FOB価格等」欄の左には、その通貨の通貨コードを入力します。

EDA業務(品目番号)の入力項目

EDA業務 入力画面(大額 繰返部)

1 /20

<01 欄> 輸出統計品目番号* 210111100 3

数量 (1) 900 KG

BPR按分係数

他法令 (1) (2) (3)

輸出貿易管理令別表コード

内国消費税免税コード

品名

数量 (2)

外為法第48条コード

内国消費税免税識別

左欄:
輸出統計品目番号、統計細分まで続けて入力(9桁)
右欄:
(1)輸出統計品目表のNACCS用を入力
(2)展示等積戻し申告の場合は、「T」のみ入力可
X:少額合算の貨物
E:統計計上除外の貨物
Y:再輸出の貨物
T:通過貿易統計対象の場合

EDA業務 入力画面(少額 共通部)

輸出統計品目番号 2101

品名 INSTANT COFFEE

他法令 (1) (2) (3) (4) (5)

輸出貿易管理令別表コード

内国消費税免税コード

外為法第48条コード

内国消費税免税識別

関税減免戻税コード

少額申告の場合は先頭4桁または9桁で入力

輸出統計品目番号に先頭4桁を入力した場合は必須入力
少額に限り、貨物情報より自動補完可能

EDC業務 輸出申告

EDA業務で払い出された申告番号を入力し、登録した内容を税関に申告します。

EDC業務の入力項目

申告等番号※	12533359630
申告条件	X

(1)本業務では以下の申告条件を指定することができる

- △(スペース):通常申告
- X:搬入前申告の登録
- I:搬入時申告の登録
- K:開庁時申告の登録
- Y:開庁時搬入前申告の登録

(2)本業務で入力可能な申告条件と事項登録時の申告等種別との組み合わせは以下の通りである

※ 郵便物の場合は、申告条件「X」「I」「Y」は利用不可である

○:入力可能 ×:入力不可

申告等種別 \ 申告条件	なし	X	I	K	Y
輸出申告	○	○	○	○	○
積戻し申告	○	○	○	○	○
特定委託輸出申告 特定製造貨物輸出申告	○	×	○	○	×
特定輸出申告	○	×	○	○	×
展示等積戻し申告	○	×	×	○	×

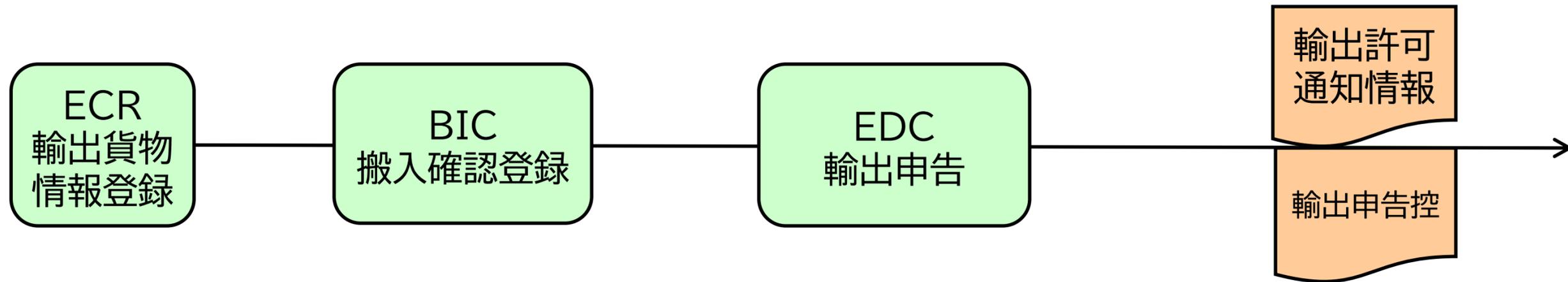
輸出申告について

申告条件

保税蔵置場で申告する場合

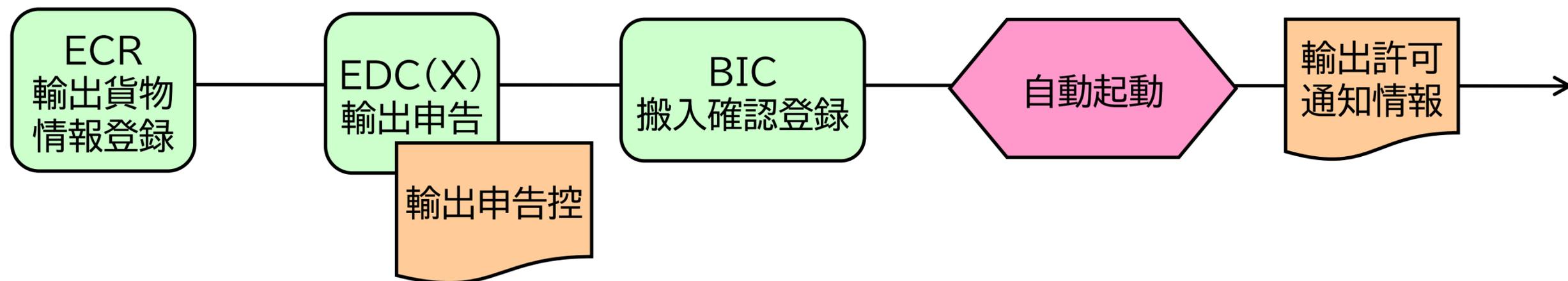
・通常申告(搬入後申告)

→貨物搬入後に実施することにより申告を行います。



・搬入前申告(申告条件「X」)

→貨物搬入の前に輸出申告を行い、貨物搬入を契機に許可を自動起動します。

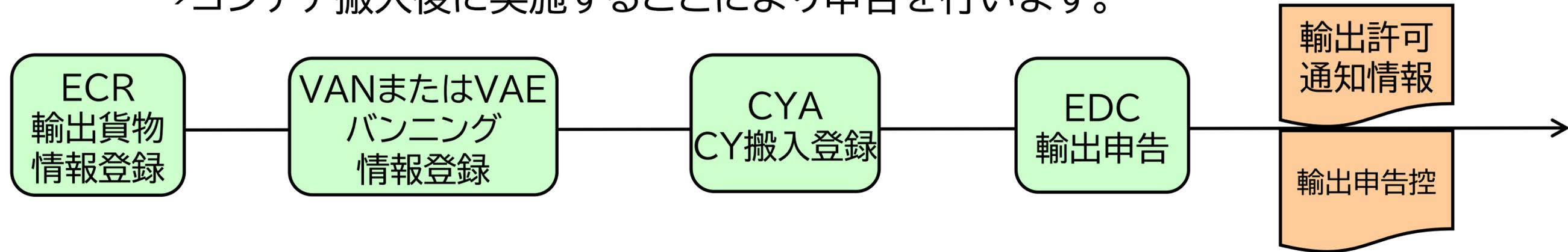


申告条件

コンテナヤードで申告を行う場合

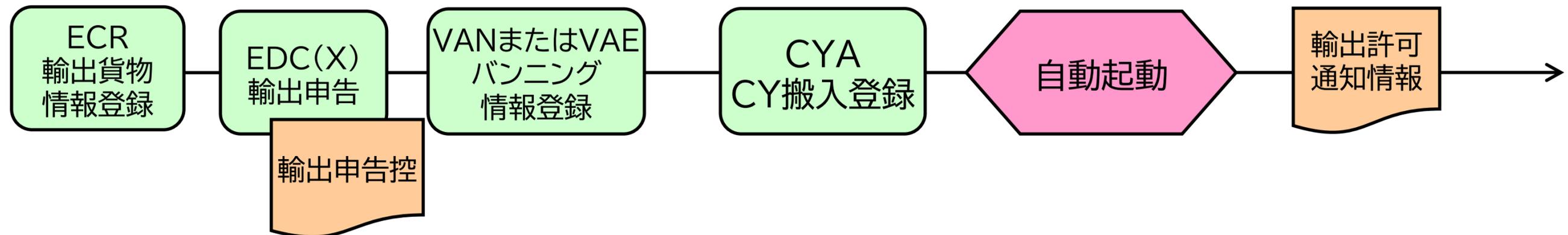
・通常申告(搬入後申告)

→コンテナ搬入後に実施することにより申告を行います。



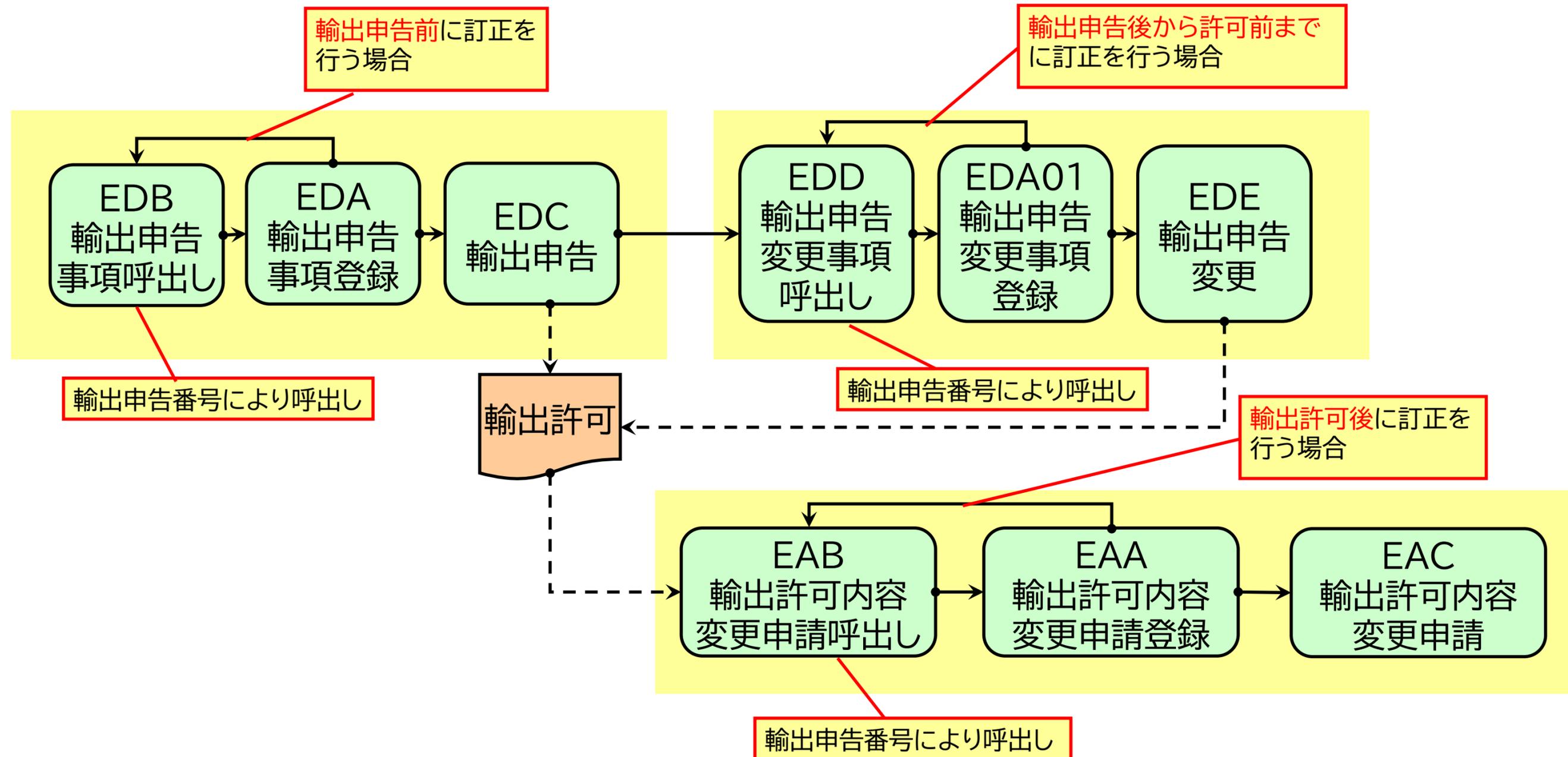
・搬入前申告(申告条件「X」)

→コンテナ搬入の前に輸出申告を行い、貨物情報及びコンテナ搬入情報が登録されたことを契機に許可を自動起動します。



輸出申告訂正業務フロー

申告後の許可前及び許可後の訂正



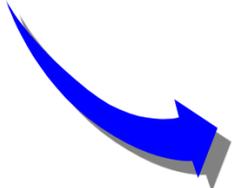
EDB業務の入力項目

- ・ 払い出し済みの申告番号を入力することにより、EDA業務で登録した申告事項登録の内容を呼び出します。
- ・ EDC業務前であれば、何度でも呼出しが訂正が可能です。

申告等番号	12533359630
輸出管理番号/AWB番号	
電子インボイス受付番号	
情報呼出識別	<input type="checkbox"/>
申告等種別コード	<input type="checkbox"/>

登録されている事項登録情報の大額・少額の区分を変更する場合に入力
(1)大額申告用に呼び出す場合に「L」を入力
(2)少額申告用に呼び出す場合に「S」を入力
※申告等番号以外で呼出す場合は必須入力

登録されている事項登録情報の申告等種別を訂正する場合に入力



EDA業務/EDC業務へ

輸出申告後の訂正について

輸出申告後から許可前までの訂正

- EDD業務により輸出申告済みの申告情報呼び出した上、必要項目の訂正を行います。
- EDA01業務により訂正を行うことで申告番号に枝番が払い出されます。申告訂正は9回まで実施可能です。(枝番は1から9で)

EDD業務の入力項目

申告等番号*	13676249520
情報呼出識別	

申告訂正を行う申告番号を入力
 ※輸出許可がされていないこと
 ※申告撤回がされていないこと

(1)登録されている申告情報の大額・少額の区分を訂正する場合に入力
 (2)大額申告用に呼び出す場合に「L」を入力
 (3)少額申告用に呼び出す場合に「S」を入力

EDA01業務へ

輸出申告後の訂正は、税関へ申し出た後に実施します。

輸出申告後の訂正について

EDA01業務の入力項目

EDD業務で呼び出した申告情報が、入力画面に展開しますので、必要項目を訂正します。

 訂正不可項目

共通部		繰返部		申告等番号		12016239640		
大額・少額識別*	<input type="checkbox"/> L	申告等種別*	<input type="checkbox"/> E	申告先種別	<input type="checkbox"/>	貨物識別	<input type="checkbox"/>	
あて先官署	<input type="checkbox"/> 1M	あて先部門	<input type="checkbox"/> 12	識別符号				<input type="checkbox"/> 1
輸出者	<input type="checkbox"/> P005A5550000_ <input type="checkbox"/> NACCS SYOUJI CO., LTD.							
輸出者住所	<input type="checkbox"/> 1230000	<input type="checkbox"/> TOKYO TO	<input type="checkbox"/> CHUO KU					
	<input type="checkbox"/> GINZA 1-1-1							
	<input type="checkbox"/> TWIN TOWER BUILDING 10F							
輸出者電話	<input type="checkbox"/> 0300000000							
税関事務管理人	<input type="checkbox"/> - <input type="checkbox"/>			受理番号	<input type="checkbox"/> - <input type="checkbox"/> - <input type="checkbox"/>			
通関予定蔵置場	<input type="checkbox"/> 1M99W							
仕向人	<input type="checkbox"/> - <input type="checkbox"/> NACCS U. S. A. CO							
仕向人住所	<input type="checkbox"/> 123 GOLDEN STREET			<input type="checkbox"/> DOWN TOWN CITY				
	<input type="checkbox"/> LOS ANGELES			<input type="checkbox"/> U. S. A.				
	<input type="checkbox"/>		仕向人国	<input type="checkbox"/> US	検査立会者	<input type="checkbox"/>		

輸出者コード
無符号輸出者から有符号輸出者への訂正のみ可能

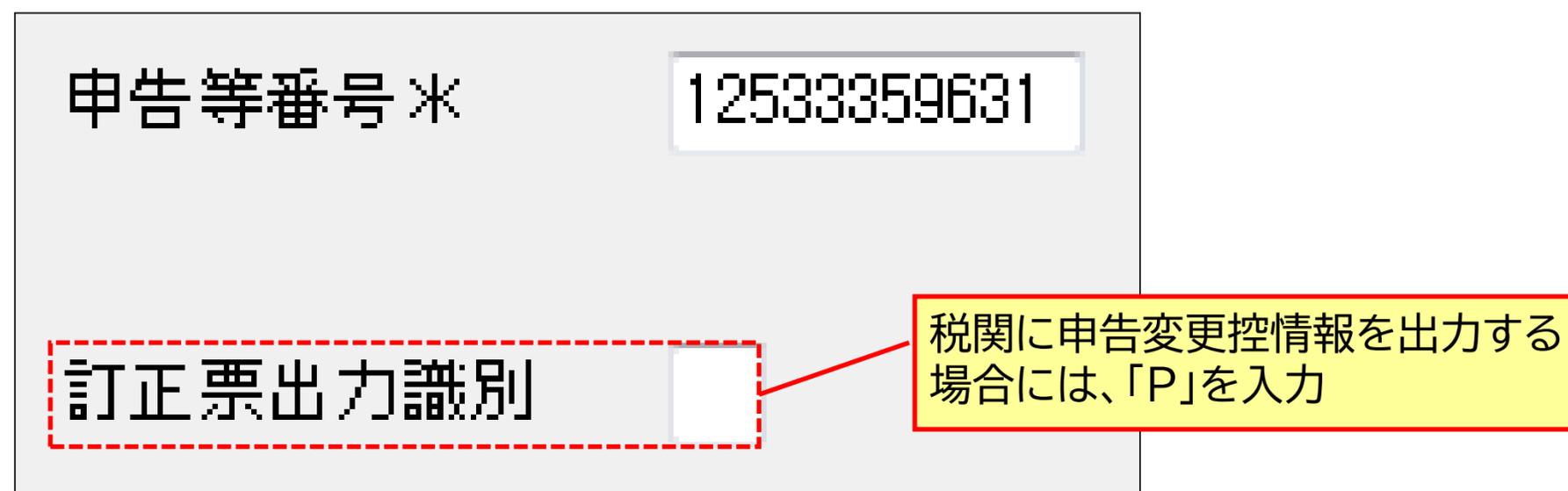
貨物搬入後及び、申告税関が変わる場合は訂正不可

検査立会者はATI(検査立会者登録)業務で変更可

EDE業務 輸出申告変更(許可前)

EDA01業務で払い出された申告番号を入力し、登録した内容を税関に申告します。

EDE業務の入力項目



申告等番号 * 12533359631

訂正票出力識別

税関に申告変更控情報を出力する場合には、「P」を入力

訂正票出力識別に「P」を入力する際には、あらかじめ税関の了承を得た上で行ってください。

輸出許可後の訂正について

輸出許可後の訂正

- EAB(輸出許可内容変更申請事項呼出し)業務により輸出許可済みの申告情報を読み出した上、必要項目の訂正を行います。
- EAA(輸出許可内容変更申請事項登録)業務により訂正を行うことにより、申告番号に枝番が払い出されます。訂正は9回まで実施可能です。(輸出申告変更からの通算)

EAB業務の入力項目

申告番号*	12533359630
変更識別コード*	S
情報呼出識別	<input type="checkbox"/>

訂正を行う申告番号を入力
※輸出許可がされていること

S:船(機)名変更
N:数量等変更

EAA業務へ

登録されている事項登録情報の大額・少額の区分を変更する場合に入力
(1)大額申告用に呼び出す場合に「L」を入力
(2)少額申告用に呼び出す場合に「S」を入力
※変更識別コード:N選択時のみ入力可

輸出・積戻し許可後に許可内容の訂正を行う際、当初申告者が行う他、当初申告者以外の通関業者に依頼して行うことも可能となっております。詳しくはNACCS掲示板をご参照ください。

輸出許可後の訂正について

EAA業務の入力項目について

→EAB業務で呼び出した申告情報が入力画面に展開するので、必要項目を訂正します。

S:船(機)名変更の場合

EAA業務 入力画面 (共通部 上段)

訂正可能項目

共通部		繰返部	
大額・少額識別	L	申告等種別	E
申告先種別	<input type="checkbox"/>	貨物識別	<input type="checkbox"/>
申告番号*	13968395810		
識別符号	1		
申請官署	<input type="checkbox"/>	申請先部門	<input type="checkbox"/>
輸出者	P005A5550000 - NACCS SYOUJI CO., LTD.		
輸出者住所	1230000	TOKYO TO	CHUO KU
	GINZA 1-1-1		
	TWIN TOWER BUILDING 10F		
輸出者電話	0300000000		
税関事務管理人	_____ - _____		
受理番号	_____ - _____		
通関蔵置場	1A99W		
仕向人	- NACCS U. S. A. COMPANY LIMITED		
仕向人住所	123 GOLDEN STREET	DOWN TOWN	
	LOS ANGELES	U. S. A.	
90001	仕向人国	US	検査立会者 <input type="checkbox"/>

輸出許可後の訂正について

S:船(機)名変更の場合 (つづき)

EAA業務 入力画面 (共通部 下段)

訂正可能項目

輸出管理番号	3219225211		AWB番号		
貨物個数	1000	CT	貨物重量	10000.000	KGM
記号番号	NACCS IN DIA		MADE IN JAPAN		
最終仕向地	USLAX	LOS ANGELES - CA	積込港	TYO	貿易形態別符号 418
積載予定船舶	9999	NACCS MARU	出港予定年月日	2017/09/05	
コンテナ本数		税関調査用符号		輸出承認証等区分*	NO
変更識別*	S	変更理由*			
輸出承認証番号等	(1)		(2)		
	(3)		(4)		
	(5)		(6)		
	(7)		(8)		
	(9)		(10)		
	(11)		(12)		
	(13)		(14)		
	(15)				
仕入書番号等	B		NACCS100-100		
仕入書価格等*	CIF	JPY	5000000	A	F.O.B価格等 JPY 3500000
BPR合計				要船積(搭載)確認識別	Y

変更理由コードを入力
 ※業務コード集を参照
 (例)
 ODR 荷主による依頼
 VCG 積載船変更
 VFL 積載船にスペースがない
 SIC 船社都合
 PRC 抜港の為

その他に、記事欄、荷主セクションコード、荷主リファレンスナンバー、社内用整理番号も訂正が可能です。船(機)名変更の場合、申告内容に関する項目は変更が行えません。変更識別により訂正可能項目が異なりますので、呼出しの際は注意してください。

輸出許可後の訂正について

N:数量等変更の場合

EAA業務 入力画面 (共通部 上段)

訂正不可項目

大額・少額識別*	L	申告等種別	E	申告先種別		貨物識別		識別符号	1
申請官署		申請先部門							
輸出者	P005A5550000 - NACCS SYOUJI CO.,LTD.								
輸出者住所	1230000	TOKYO TO	CHUO KU	GINZA 1-1-1 TWIN TOWER BUILDING 10F					
輸出者電話	0300000000								
税関事務管理人	_____ - _____			受理番号	_____ - _____				
通関蔵置場	1A99W								
仕向人	_____ - _____ NACCS U.S.A. COMPANY LIMITED								
仕向人住所	123 GOLDEN STREET			DOWN TOWN	LOS ANGELES U.S.A.				
	90001	仕向人国	US	検査立会者					
輸出管理番号	3219225211 ※			AWB番号					
貨物個数	1000	CT	貨物重量	10000.000	KGM				
記号番号	NACCS IN DIA			MADE IN JAPAN					
最終仕向地	USLAX	LOS ANGELES - CA	積込港	TYO	貿易形態別符号	418			

※仕分けの子への変更のみ可

最終仕向地については、先頭2桁の国名コードのみ訂正不可

数量等変更の場合、蔵置場に蔵置されている必要があります。通関蔵置場を訂正する場合、現に蔵置されている蔵置場コードへの訂正のみ可能です。

輸出許可後の訂正について

EAC(輸出許可内容変更申請)業務

EAA業務で払い出された申告番号を入力し、登録した内容を税関に申請します。

EAC業務の入力項目

申告番号*	12533359631
訂正票出力識別	<input type="checkbox"/>

税関に許可内容変更控情報を出力する場合には「P」を入力

訂正票出力識別に「P」を入力する際には、あらかじめ税関の了承を得た上で行ってください。

*【汎用申請業務】船積情報登録等以降の輸出等許可内容変更の申請について
申請手続種別コード「G83」(船名・数量等変更申請)は、数量等の輸出等許可内容変更を当該業務にて行う旨を通関担当部門へ申し出た上で行ってください。

輸出許可後の訂正について

海上にて輸出許可後、航空貨物へ変更となる場合

EAA業務 入力画面(共通部)

共通部 繰返部

AWB番号を入力します

申告番号*

大額・少額識別 申告等種別 申告先種別 貨物識別 識別符号

申請官署 申請先部門

輸出者

輸出管理番号 AWB番号

貨物個数 貨物重量

記号番号

最終仕向地 積込港 貿易形態別符号

積載予定船舶 出港予定年月日

コンテナ本数 税関調査用符号 輸出承認証等区分* 事前検査済貨物等識別

変更識別*

輸出承認証番号等

(1)	<input type="text"/>	(2)	<input type="text"/>
(3)	<input type="text"/>	(4)	<input type="text"/>
(5)	<input type="text"/>	(6)	<input type="text"/>
(7)	<input type="text"/>	(8)	<input type="text"/>
(9)	<input type="text"/>	(10)	<input type="text"/>
(11)	<input type="text"/>	(12)	<input type="text"/>
(13)	<input type="text"/>	(14)	<input type="text"/>
(15)	<input type="text"/>		

仕入書番号等

仕入書価格等*

BPR合計

要船積(搭載)確認識別

バンニング場所

左欄:「A」を入力
右欄:航空会社名

空港コードを入力します
例:成田=NRT

航空貨物の第一符号は「1」
例:直輸出航空貨物=「118」

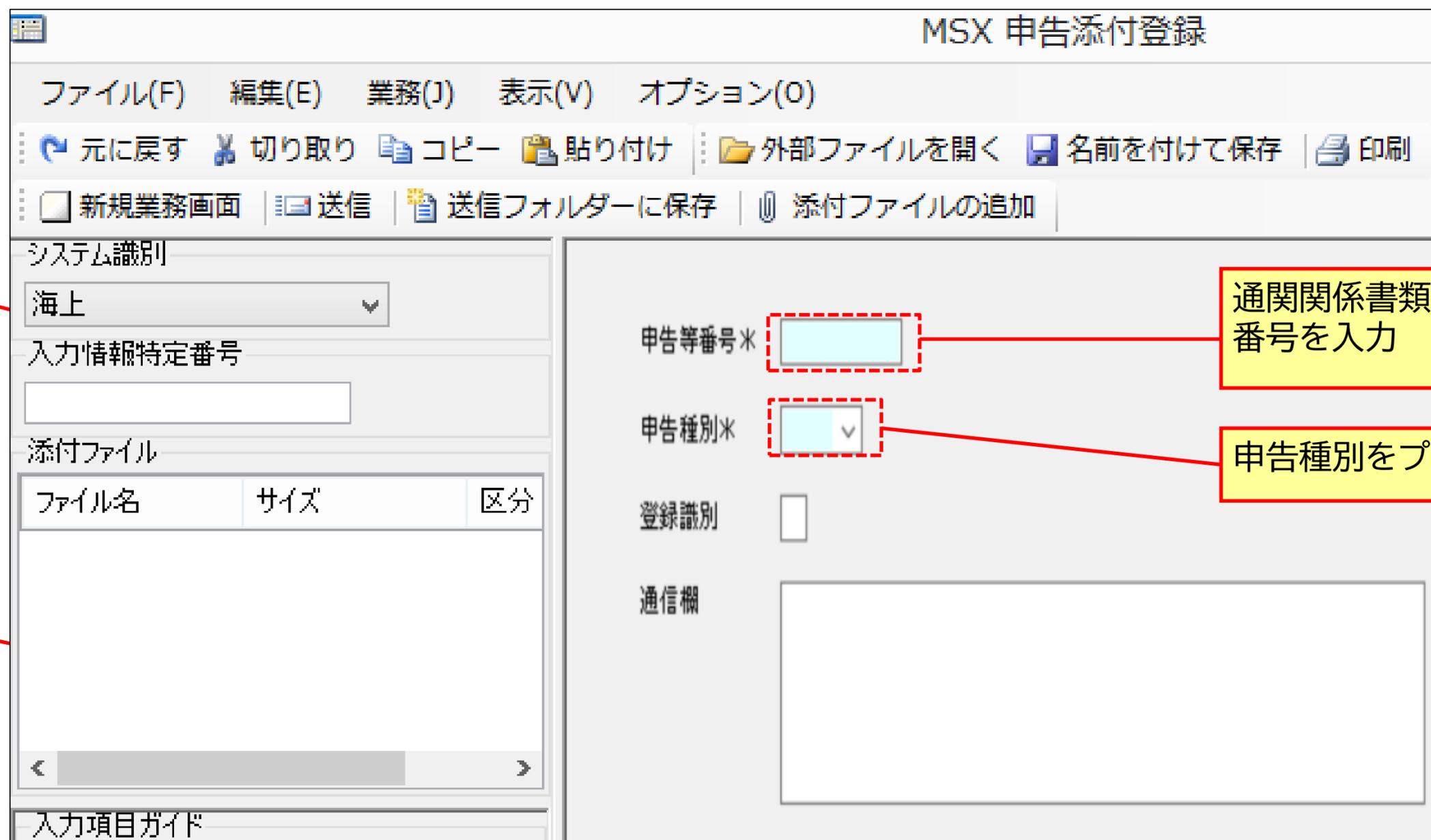
バンニングされた状態では航空貨物への訂正が出来ないため、空白となります

- MSX(申告添付登録)業務 申告添付登録
申告手続きに係る通関関係書類を申告等番号ごとに添付ファイルで登録します。
- MSY(申告添付登録)業務 申告添付訂正
MSY業務によりシステムに登録済の添付ファイル情報を呼び出し、MSY01業務で添付ファイルの追加・削除が可能です。
- IMS(申告添付一覧照会)業務
MSX業務またはMSY01業務により登録された添付ファイル情報を照会します。

- 区分2、区分3の場合は、MSX業務により登録した資料を税関で確認後、許可になります。
- 区分1Yは許可後にMSX業務で税関への書類提出が必要な審査区分です。

申告添付登録について

MSX業務 入力画面



MSX 申告添付登録

ファイル(F) 編集(E) 業務(J) 表示(V) オプション(O)

元に戻す 切り取り コピー 貼り付け 外部ファイルを開く 名前を付けて保存 印刷

新規業務画面 送信 送信フォルダーに保存 添付ファイルの追加

システム識別

海上

入力情報特定番号

添付ファイル

ファイル名	サイズ	区分
-------	-----	----

入力項目ガイド

申告等番号*

申告種別*

登録識別

通信欄

海上か航空を選択

右クリックで添付ファイルの追加・貼付・削除。ドラッグ&ドロップも可能

通関関係書類を登録したい申告等番号を入力

申告種別をプルダウンから選択

- ・1ファイルあたり最大3MB、合計容量は最大10MBまで1度に登録可能です。
- ・ファイル名に使える記号はハイフン、アンダーバー、ピリオドのみです。

○輸出入者コード欄の体系 17桁

本支店コード(枝番4桁)を含めた17桁で入力
本支店コードがない場合は13桁で入力すれば
枝番0000を自動補完し、出力される

(例) 法人番号 (13桁) 1234567890123 0000

税関発給コード(12桁) C1234567 0000

JASTPROコード(12桁) P005A555 0000

法人番号と紐づけがあれば、識別符号に
「1」を自動補完し、入力控には法人番号を
変換出力する
紐付けがない場合は、識別符号を必須入力

日本輸出入者標準コード(JASTPROコード)・税関発給の「輸出入者コード」と、法人番号との紐付けがされている場合は、EDA業務等入力時に輸出入者コードで入力すると、法人番号・社名・住所等を変換出力します。

詳細は、業務資料「法人番号編」をお読みください。

申告先官署の変更について

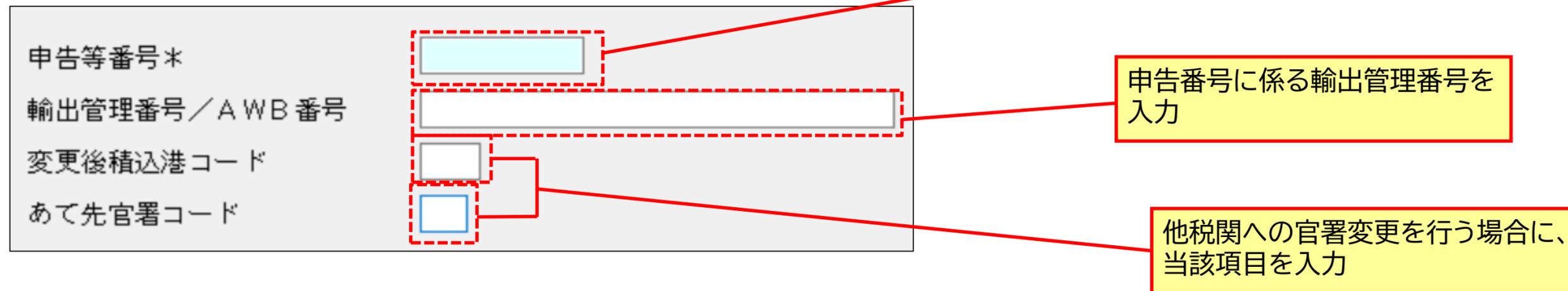
輸出申告後の申告先官署の変更について

EDY(輸出申告変更(官署変更))業務

EDC業務で払い出された申告番号を入力し、申告内容を引き継いだまま、申告先税関を変更することができます。

※本業務実施の際は、必ず事前に税関に申し出て、あて先官署変更受理がされている必要があります。

EDY業務 入力画面



The screenshot shows the EDY business input screen with the following fields and callouts:

- 申告等番号***: A callout box points to this field with the text "輸出申告時の申告番号を入力".
- 輸出管理番号/AWB番号**: A callout box points to this field with the text "申告番号に係る輸出管理番号を入力".
- 変更後積込港コード**: A callout box points to this field with the text "他税関への官署変更を行う場合に、当該項目を入力".
- あて先官署コード**: A callout box points to this field with the text "他税関への官署変更を行う場合に、当該項目を入力".

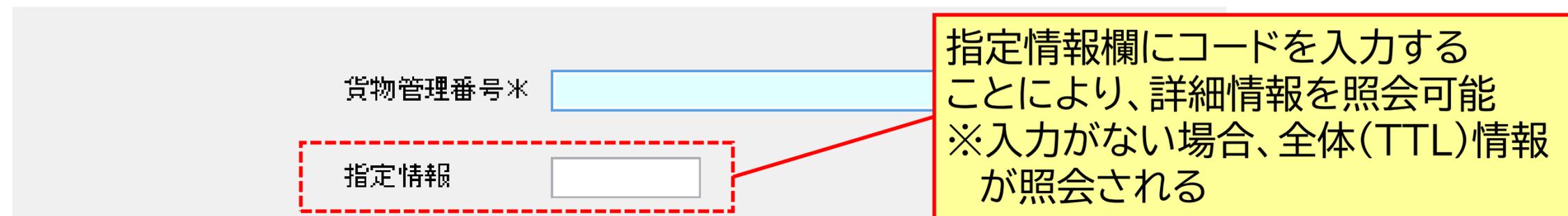
官署変更が可能な手続きの条件は、以下を全て満たす場合となります。

- ①「輸出申告」(申告等種別コード「E」「R」)、又は「マニフェスト通関申告」済みであること。
- ②輸出許可前であること。
- ③他税関への官署変更の場合、積込港変更や他税関管轄の蔵置場への変更等が必要。

主な照会業務

ICG(貨物情報照会)業務

個数、重量、品名等の貨物情報や通関状況及び保税地域等への搬出入状況を貨物管理番号(B/L番号)単位に照会することができます。



貨物管理番号*

指定情報

指定情報欄にコードを入力することにより、詳細情報を照会可能
※入力がない場合、全体(TTL)情報が照会される

(指定情報)

T T L : 全体情報	D C L : 輸出入許可情報
S M R : 概要情報	P R M : 保税運送申告等税関手続情報
C O N : 貨物状況情報	V A N : コンテナ貨物情報
S H P : 荷送受人情報	D P R : 船積情報
E N T : 搬入予定情報	R S H : 積戻し貨物到着時情報
B N D , X X X X X : 入出庫管理情報	A R R : 船卸情報
T R N : 搬出入情報	D M G : 事故情報
D I T : 輸出入申告関連情報	H A N : 搬入時申告情報
O L T : 保税運送関連情報	F T M : フリータイム情報
	A M R : 出港前報告情報
	H S T : 履歴情報

ICG業務 結果画面(全体情報上段)

(全体情報)

貨物管理番号 3219225211 指定情報 TTL
 次貨物管理番号 次指定情報
 最新更新日時 最新更新業務 最新更新利用者 最新更新日時

2017/09/05	16:11:01	CEW	1T999	/ /	-	:	:
2017/09/05	16:10:59	BIC	1H999	/ /	-	:	:
2017/09/05	15:22:57	EDC	1T999	/ /	-	:	:
2017/09/05	15:21:07	ECR	1T999	/ /	-	:	:
/ /	:	:		/ /	-	:	:

貨物状況 EXP 荷渡可能表示 貨物種別 22

積戻し貨物表示 積戻し輸出管理番号
 混載表示 マスターB/L番号
 仕分仕合表示 仕分親貨物管理番号

荷受形態 51 荷渡形態 51 運送形態 C 搬入種別 N 通関種別 N 事故確認表示

記事

品名 VEGETABLE PRODUCTS 代表品

記号番号 NACCS IN DIA
MADE IN JAPAN

総個数 1000 - CT 総重量 10000.000 - KGM ネット重量

原産地 最終仕向地 USLAX

貨物情報登録者 1T999 船会社 NAC1 船舶代理店 通関業 1T999

危険貨物 0 ブッキング番号 社内整理番号 VEGETABLE-1

船舶 9999 - NACCS MARU 運航船会社航海番号

航海番号 NACCS100

入港日 / / 船卸港 USLAX 船卸場所 -
 出港予定日 2017/09/05 船積港 JPTYO 船積場所

照会貨物にかかる処理状況が時系列で表示される

- ・最新更新業務: 業務コードを表示
- ・最新更新利用者: 利用者コードを表示

貨物種別を表すコードが表示される

22 = 輸出貨物(積戻し貨物を含む)
 23 = 輸入貨物 28 = 仮陸揚貨物

貨物状況を表すコードが表示される

EXP = 輸出許可済(積戻し許可済を含む)
 MAN = 貨物手作業移行
 TRN = 運送中
 CCL = 船積み確認済み など

通関種別を表すコードが表示される

N = 一般通関 T = システム外許可済
 H = 本船扱い F = ふ中扱い
 S = 特定輸出申告、特定委託輸出申告
 または特定製造貨物輸出申告

ICG業務 結果画面(全体情報下段)

荷受人 - NACCS U. S. A. COMPANY LIMITED

着荷通知先名 (1)

着荷通知先名 (2)

蔵置場所	搬入日	蔵置個数	発送地	搬出日	搬入先	搬出区分	搬入日
1A99D - <input type="checkbox"/>	2017/09/06	1000	1A99W - <input type="checkbox"/>	2017/09/06	1A99D	LE	2017/09/06
<input type="text"/>	/ /	<input type="text"/>	<input type="text"/>	/ /	<input type="text"/>	<input type="text"/>	/ /
<input type="text"/>	/ /	<input type="text"/>	<input type="text"/>	/ /	<input type="text"/>	<input type="text"/>	/ /
<input type="text"/>	/ /	<input type="text"/>	<input type="text"/>	/ /	<input type="text"/>	<input type="text"/>	/ /
<input type="text"/>	/ /	<input type="text"/>	<input type="text"/>	/ /	<input type="text"/>	<input type="text"/>	/ /

フリータイム日付

コンテナ数

/ 10

コンテナ番号	状況	フリータイム	コンテナ番号	状況	フリータイム	コンテナ番号	状況	フリータイム
<input type="text" value="NACS00000001"/>	<input type="text" value="F"/>	<input type="text" value="/"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text" value="/"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text" value="/"/>

輸出入申告が行われている場合に出力
 ※ 照会者が照会可能である場合のみ

コンテナ貨物の場合にコンテナの状況を表示コードが表示されます
 A=船卸前 E=バンニング済み
 B=船卸済み F=CY搬入済み
 C=CY搬出済み G=船積み処理済み
 D=デバンニング済み

ICN(コンテナ情報照会)業務

コンテナ単位にコンテナ情報を照会します。

コンテナ番号*

ICN業務 結果画面(上段)

コンテナ番号	NACS00000001		
次コンテナ番号*	<input type="text"/>		
最新更新日時	2017/09/06 - 09:48	最新更新業務	CYA
		最新更新利用者	1C999
コンテナ状況	6	輸出入識別	22
		船会社	NAC1
		コンテナオペレーション会社	<input type="text"/>
空/実入	5	サイズ	22
		タイプ	GP
		貨物数	1
荷渡形態	<input type="checkbox"/>	所有形態	<input type="checkbox"/>
		バンニング形態	<input type="checkbox"/>
		マニュアル輸出許可済識別	<input type="checkbox"/>
条約適用識別	<input type="checkbox"/>	卸コンテナ自動抽出対象外	<input type="checkbox"/>
		搬出可能識別	1
船舶コード	9999	航海番号	ABC
		船卸港	<input type="text"/>
積出港	JPTYO	入港年月日	/ /
船卸年月日	/ /	船積年月日	/ /
蔵置場所	1A99D	- <input type="checkbox"/> - NACCS (DUMMY) CY	
発送地	1A99W	- NACCS (DUMMY) HO-CY	

空/実入コンテナ識別を出力
4:空 5:実入

コンテナの現在の状態をコードで表示
1:削除表示 5:積荷目録提出後、船卸前
2:差止中 6:蔵置中
3:容器通関済(コンテナリスト提出) 7:運送中
4:積荷目録提出前 8:バンニング経由中

ICN業務 結果画面(下段)

手続種別	<input type="text"/>	提出番号等	<input type="text"/>	手続年月日	<input type="text"/> / <input type="text"/> / <input type="text"/>	登録者	<input type="text"/>	コンテナ管理者	<input type="text"/>			
仮陸揚届出官署	<input type="text"/>	仮陸揚事由	<input type="text"/>	仮陸揚期間	<input type="text"/>							
バンニング	場所	地域名	年月日	情報登録者								
1	1A99W	NACCS (DUMMY) HO-CY	2									
2												
3												
4												
5												
シール番号	1	ABC	2		3		4		5		6	
ブッキング番号	<input type="text"/>											
事故届出者	<input type="text"/>											
事故	1	<input type="text"/>	2	<input type="text"/>	3	<input type="text"/>	4	<input type="text"/>	5	<input type="text"/>	事故確認状況表示	<input type="checkbox"/>
1 / 10												
01 貨物管理番号	3219225211											
品名	VEGETABLE PRODUCTS											
個数	1000 - CT		許可・承認状況	LE								
02 貨物管理番号	<input type="text"/>											

当該コンテナに対して税関手続がされている場合に、その税関手続種別コードを出力
DCN: 卸コンテナリスト提出
LCN: 積コンテナリスト提出
MCI: コンテナ輸入許可
OLC: コンテナ容器保税運送承認
KRR: 仮陸揚空コンテナの仮陸揚届出

当該コンテナに紐づいているB/L番号、または貨物管理番号

- ICG業務・ICN業務などの照会業務により表示された記号番号等のうち、別の照会業務を実施可能な場合にその照会業務を自動起動することができます。

申告種別 LE 申告番号 13968395810

税関手続種別 手続者

最新
その前
フリータイム日付
コンテナ数 1

コンテナ番号: NACS00000001

右クリック

右クリック

表示されたリンクメニューから照会業務を選択する

元に戻す(U)
切り取り(T)
コピー(C)
貼り付け(P)
行のコピー(K)
行の貼り付け(H)
行の挿入(I)
行の削除(R)
画面クリア(D)
表データの保存(G)
全チェックボックスをチェックする(O)
全チェックボックスのチェックを解除する(N)
フィールド属性表示(F)
業務リンク(L)
オートコンプリート履歴クリア(E)

IAR (出港前報告照会)
RSS11 (輸入コンテナ引取予定情報照会)
INV (混載貨物情報照会)
IID (輸入申告等照会)
IEX (輸出申告等照会)
IEU (別送品輸出申告照会)
IOL (保税運送申告照会) 最新
IOL (保税運送申告照会) その他
ICN (コンテナ情報照会)

輸出申告等照会について

IEX業務 結果画面(共通部下段) ※特定輸出申告では出力項目が異なります。

船積(搭載)確認(関税) <input type="checkbox"/>	(内国消費税) <input type="checkbox"/>	(その他) <input checked="" type="checkbox"/>	申告欄数	<input type="text" value="1"/>
記号番号	<input type="text" value="N/M"/>			

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

荷主Ref No.	<input type="text"/>	輸出者(入力)	<input type="text" value="-"/>
利用者整理番号	<input type="text"/>		

変更識別	<input type="checkbox"/>	変更理由	<input type="text"/>
保税運送承認期間(開始)	<input type="text" value="2023/12/08"/>	保税運送承認期間(終了)	<input type="text" value="2023/12/14"/>
事項登録日	<input type="text" value="2023/12/08"/>	事項登録者	<input type="text" value="1ATC7"/>
輸出等許可年月日	<input type="text" value="2023/12/08"/>	許可内容変更申請日	<input type="text" value="/ /"/>
輸出等申告撤回日	<input type="text" value="/ /"/>	輸出等申告手作業移行日	<input type="text" value="/ /"/>
特例輸出貨物の輸出許可取消年月日	<input type="text" value="/ /"/>	輸出取止め再輸入申告年月日	<input type="text" value="/ /"/>
輸出許可後手作業移行日	<input type="text" value="/ /"/>	輸出取止め再輸入許可年月日	<input type="text" value="/ /"/>
		搬入前申告審査終了日	<input type="text" value="/ /"/>
		許可内容変更申請承認日	<input type="text" value="/ /"/>
		特例輸出貨物の輸出許可取消申請年月日	<input type="text" value="/ /"/>
		積戻し取止日	<input type="text" value="/ /"/>

以下の船積確認要件である場合は、その適用区分を出力
 A: 積戻し申告の場合
 F: 関税定率法第20条該当の場合
 E: 関税定率法第19条の3該当の場合
 H: 関税定率法第19条の2該当の場合
 D: 関税定率法第19条該当の場合
 B: 関税定率法第11条該当の場合
 C: 関税定率法第17条該当の場合
 G: 上記以外の関税関係法規に該当する場合
 なお、競合した場合は、上記の優先順位に1つのみ出力

以下の場合には必ず「Y」を出力
 ①積戻し申告
 ②用途外使用の用途に該当しない用途
 ③関税の減免戻税または内国消費税の免税還付
 ④展示等積戻し申告

併せ保税運送期間や許可年月日等の確認ができます。

輸出申告等一覧照会について

IES(輸出申告等一覧照会)業務

輸出申告等に係る手続状況等を指定した日付毎に一覧で照会できます。

照会種別 照会対象年月日 通関業者 申告官署 申告先部門

1 / 10

申告番号	輸出管理番号	蔵置場	申告種別	区分	部門	貨物	手続
通関士	要搭	通関	輸出者	代表統番	社内整理番号	欄数	
(1)	<input type="text" value="139 6839 5700"/>	<input type="text" value="3219209921"/>	<input type="text" value="1A99W"/>	<input type="text" value="S"/>	<input type="text" value="E"/>	<input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>
	<input type="text" value="D"/>	<input type="text" value="1T999"/>	<input type="text" value="8634567890123-0000"/>	<input type="text" value=""/>	<input type="text" value="VEGETABLE-1"/>	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value=""/>
(2)	<input type="text" value="139 6839 5810"/>	<input type="text" value="3219225211"/>	<input type="text" value="1A99W"/>	<input type="text" value="L"/>	<input type="text" value="E"/>	<input type="text" value=""/>	<input type="text" value="4"/>

照会種別*

照会対象年月日 / /

通関業者

申告官署

申告先部門

蔵置官署

蔵置部門

通関士審査結果の登録内容を入力
 スペース:未審査(事項登録済)
 Y:審査済
 N:訂正要
 D:申告済

- (1)照会種別コードが「A」、「E」、「I」、「J」の場合はスペースを出力
- (2)照会種別コードが「B」、「C」、「D」、「K」、「L」の場合
- 0:搬入前申告済で搬入前
- 1:輸出申告等済で搬入後・輸出等許可前
- 2:輸出申告等変更事項登録済で輸出申告等変更前
- 3:輸出申告等変更済で輸出等許可前
- 4:輸出等許可済
- 5:輸出等許可内容変更申請事項登録済で輸出等許可内容変更申請前
- 6:輸出等許可内容変更申請済で輸出等許可内容変更申請承認前
- 7:輸出等許可内容変更申請承認済
- 8:輸出取止め再輸入申告事項登録済で申告前または、特例輸出貨物の輸出許可取消申請事項登録済で申請前
- 9:輸出取止め再輸入申告済で再輸入許可前または、特例輸出貨物の輸出許可取消申請済で輸出許可取消前
- スペース:輸出申告等前(開庁時、搬入時自動起動の登録を含む)

照会したい種別コードを入力します

A: 事項登録一覧 E: 未許可申告一覧
 B: 申告一覧 I: 未許可申告一覧(搬入後処理未済)
 C: 搬入時申告一覧 J: 未許可申告一覧(搬入後)
 D: 開庁時申告一覧 K:通関士審査対象一覧
 L:通関関係書類未提出申告一覧

輸出入者情報照会について

IIE(輸出入者情報照会)業務

輸出入者名、輸出入者コード及び住所の情報を照会できます。

前方一致検索を行い最大20件の照会結果を出力

輸出入者コード

輸出入者名

照会したい輸出入者コード・法人番号もしくは輸出入者名を入力
※支店枝番を省略して入力した場合、システムで支店枝番とし「0000」を補完して出力

次輸出入者コード

次輸出入者名

1 / 4

輸出入者コード 法人番号等

名称無効表示

輸出入者名

住所

電話

輸出入者コード 法人番号等

名称無効表示

輸出入者名

住所

電話

輸出入申告関連共通業務について

<p>SHN 貨物取扱登録 (内容点検)</p>	<p>保税地域に蔵置されている貨物について、関税法第40条第1項に基づく「内容点検」「その他の手入れ」を行う場合に本業務により必要事項を登録する。</p>
<p>SHS 貨物取扱登録 (改装・仕分け)</p>	<p>保税地域に蔵置されている貨物について、関税法第40条第1項に基づく「改装」、「仕分け」を行う場合に本業務により必要事項を登録する。</p>
<p>CHU 貨物取扱登録 (仕合せ)</p>	<p>保税地域に蔵置されている輸出貨物(積戻貨物を含む)について、複数の輸出管理番号単位の貨物を1つの輸出管理番号単位の貨物に仕合せする場合は本業務により必要事項を登録する。 これにより取扱場所へ貨物取扱情報が通知される。 なお、本業務を行った場合は、以降の業務は仕合せした単位で行うこととなる。</p>

SHC 貨物取扱取消	SHN業務・SHS業務・CHU業務、CHD(貨物取扱登録)業務を取り消す場合は、本業務によりその旨を登録する。
CHD 貨物取扱登録 (許可申請)	保税蔵置場等に蔵置されている貨物について、関税法第40条第2項に基づく「見本の展示」、「簡単な加工」及び「その他これらに類する行為」を行う場合は本業務により税関に対し許可申請を行う。 システムは申請を「簡易審査扱い」または「書類審査扱い」のいずれかに選定する。「簡易審査扱い」に選定された申請は即時に許可となる。「書類審査扱い」に選定された申請は、税関が行うCHE(貨物取扱許可申請審査類審査終了)業務により許可となる。
CHI 貨物取扱結果通知	保税地域は、SHN業務・SHS業務・CHU業務、CHD業務で登録された取扱いについて取扱いが終了した旨を通知する。 また、当該通知を取り消す場合も本業務で行う。 なお、本業務は貨物取扱登録または貨物取扱許可申請を行った利用者への通知が必要な場合のみ入力を行う。

取扱業務は、CHI業務を除き、保税管理者以外に通関・海貨・NVOCC業種でも実施可能です。なお、輸入貨物の仕合せはできません。

<p>MHA 見本持出許可申請</p>	<p>貨物情報が登録されている貨物を見本として一部持出す場合に申請する。 関税法基本通達32-3に規定する包括許可に係る申請はMHA業務の対象外であり、マニュアルによる申請を行う。(HYS(汎用申請)業務も可能) 見本持出申請を行った場合、簡易審査扱い(区分1)の場合は即時に、また、書類審査扱い(区分2)の場合は、税関によるMHE(見本持出審査終了)業務により、見本持出許可通知情報が配信される。</p>
<p>MHC 見本持出取消</p>	<p>MHA業務を行った利用者が、税関の許可前にあらかじめ税関保税担当部門に申し出た後行う。 許可後の場合は、「NACCS登録情報変更願」を税関へ提出し、税関が取消すこととなる。</p>
<p>MHO 見本持出確認登録</p>	<p>MHA業務にて許可となった見本を保税地域から一時持出した場合は、MHO業務にてその旨を登録する。 MHA業務による持出期間終了日から7日後(当日含む、日・祝除く)に情報が削除されるため、以降はMHO業務が実施できなくなる点に留意する。 本業務は任意業務であるが、管理統計資料「貨物取扱等一覧データ」の一時持出年月日に出力する必要がある場合、必須業務となる。 MHO業務の取消しは、MHO業務で実施する。</p>